

会 議 名		資料 2
令和 7 年度第 1 回 生活支援事業連絡会		
開催日時	2025 年 4 月 16 日（水） 14:00～16：00	
開催場所	本町暫定第 1 会議室	
参加者	小金井市介護福祉課：木津氏、菊地原氏、（敬称略） きた包括：松村氏 ひがし包括：中島氏 にし包括：久野氏 みなみ包括：河合（記録）	
議 事 内 容		
1. 地域デビュー講演会について ・ 6/13(金)S 氏講演 60 分。5/15 発行の市報に掲載予定。 市報掲載以前の申し込み開始は NG のため、申し込み開始は 5 月 15 日からとする。 →残りの 60 分内容案： デビューガイド掲載の担当部署からゲストを呼び、参加人数によるが、5 グループ程度を作成。グループごとの簡単な紹介をして参加者には好きなグループに入ってもらい（ここまで 5 分）、講演の感想・質問・自分のやりたいことなどのディスカッション（30 分）、その後全体共有と質疑応答（15 分）。+トイレ休憩 10 分。 テーブルは並べず、講演会からイスのみ準備。グループもイスの移動のみ行う。コーディネーターは極力参加しファシリテーターの役割を担う。 →ゲスト候補： ①ボランティアセンター（にし久野氏から声掛け）②ボラポ担当商工会（市から）③公民館緑分館（きた松村氏から）・南分館（みなみ河合から）④悠友クラブ（市から）⑤シルバー人材センター（市から） 2. 令和 7 年度応援ブック作成について ・ 例年通り、10 月末までに情報更新・新規団体取材を行い、2 月末に納品。入力データは市から令和 6 年度のマップ情報を反映させたものを各包括に近日中に送る。さくら体操情報はさくら担当がまとめた情報と同じものとする。（市で入力を行う。） ・ 中分類について：太極拳と気功を同じ分類にする。卓球は「その他」に追加。趣味教養に「スマホ・パソコン」を追加予定。 ・ 複数会場実施団体について：各圏域のページに入れる。例) ICT サポーターズ本館・貫井南分館→きたとみなみそれぞれのページに追加する。 ・ 検討事項：掲載団体の参加費の上限は設けるのか → 今一度市の方で掲載基準などを検討し、連絡会で共有を行う。 3. 活動報告から（新規団体について） ・ みなみ：「歌をうたう会」が南センターで 4/18 初回発足予定。訪問はできないが主催者に話を聞き取る。 ・ ひがし：ICU の学生と教授が地域とのつながりを作りたいということで、「にこにこの会」を立ち上げ。新小金井駅花壇の美化活動などを行う。 ・ きた：「音楽で脳トレ（4 人の音楽療法士の会）」が本館にて活動している。ストレッチやコグニサイズ、回想法など音楽を使ったプログラムを行っている。 ・ きた：「バランス体操」は以前ブック掲載を断られた経緯があったが、最近参加者数が減ってきたこともあり、再度ブック掲載について打診し、了解を得た。 活動団体の課題：①既存団体の継続問題／今まで安泰と思われていた団体でも、リーダーの引退をきっかけに継続が危ぶまれる。新規参加者も入ってこない状況がある。②包括を知らない・周知方法がわからない／新規活動団体からは包括を知らないため周知方法をどうしたらいいのかもわからないという声があった。 4. お元気サミットについて ・ 生活支援は介護予防とセットの枠となる。生活支援枠は 90 分。 →S 氏の講演が 60 分のため、残りの 30 分は質疑応答で終わってしまう可能性あり。※要検討 ・ 日程は 11/12 午後か 11/13 午前。確定は 5 月か 6 月。 5. その他 ・ 応援マップの追加配架について 各包括 500 部ずつ配布。残りは市に約 1000 部中、半分は配架済み。 ブックは市の在庫なし。各包括で在庫数を確認し適宜補充を行う。 共有：さくら体操の毎月のミニ講座にて、社会参加のテーマ回に応援マップとブックについて掲載されている。もしかしたら事業所からほしいと要望が来るかもしれない。→都度、各包括で対応する。		

- ・シニア世代の地域参加講座 周知について

生涯学習課主催の講座について、各包括 LINE でも周知をお願いしたい。

介護福祉課 1 枠担当する。地域包括支援センター、地域の居場所、お金の管理について話す予定。

- ・地域デビューガイド配布方法について

案：小金井の企業に社員教育の一環として地域デビューガイドを紹介。(※UPTREE がすでにやっている) 駅のラックに地域デビューガイドを置く。イトーヨーカドーの場所を借りて説明パネル等を置いて周知する。ガイドをパウチしたものを病院や薬局に配布し置いてもらう。

次回開催予定

生活支援連絡会 2025 年 5 月 21 日（水）14 時～ 於：本町暫定第 2 会議室

以上

開催日時 2025 年 5 月 21 日（水）14:00～16:05

開催場所 本町暫定第二会議室

参加者 小金井市介護福祉課：木津、菊地原 ※敬称略
ひがし包括：中島、にし包括：渕、久野、みなみ包括：河合 きた包括：松村（記録）

議 事 内 容

1. 第 1 層協議体について（資料あり）

- ・昨年度で「男性の地域参加」「地域デビュー」に関する取り組みはいったん終了。
 - ・今年度の取り組みについては、各包括から提出の評価シートから令和 6 年度第 3 回目の最後で各委員からでた地域課題と思われる課題について抽出し、資料にまとめた。
- 地域によって課題は違い、地域活動の継続支援、担い手不足といった共通課題がある。今まで、新規立ち上げ、継続支援等について 2 層協議体を実施してきている。第 2 層で出た課題を第 1 層にあげ、検討し、また第 2 層へ戻すような、形をとっていききたい。担い手や活動継続を検討していくことによって、新たな社会資源等も見えてくる可能性がある。
- ・各包括が開催した 2 層協議体の実績を作成。それをもとに、それぞれの 2 層協議体のよかった点、開催後に必要な取り組みについて考えていけるとよい。

⇒各包括から

- ないまぜの会、防災女子会（ぼうさい Café さくら）追加。 予めゴールが決められた 2 層協議体より、誰でも参加でき、自由に意見交換できる協議体のほうが新しい活動が生まれる可能性がある。（以上きた）
- サロン連絡会はややマンネリ化して、開催に必要性を感じていない参加者もあり。あと一年、参加者で地域課題を共有するということに取り組むが、難しければ解散も視野に入れる。サロン合同でのリハ職巡回事業は好評。
- 貫井住宅認カフェはチームオレンジをめざすため、JKK の手が離れる。協力者がもう少し必要。
- 天神ポッチャは 2 層開催で地域住民同士のつながりができた好例。
- 貫井住宅さくら体操では体操のほかスマホ相談会を定期的に開催するなど、活動の幅が広がった。（以上みなみ）
- 恒春会は包括が介入することでルールを決め、対立する両者の妥協点を見出すことができた。
- 本町住宅サロン JKK、地域福祉コーディネーターとの連携で、本町住宅で新たな活動が立ち上がった。（にし）
- 2 層協議体の開催により包括が自分たちと一緒に考えてくれる存在であることが伝わる。また、団体のコアメンバー以外の方とも直接話ができて、ただ参加するだけでなく会の運営に巻き込むきっかけになることもある。会議でみんなが集まることにより、手順が簡略できる、課題の共有によって所属意識、参加意欲が高まるといったことに繋がる。（ひがし）

2. 地域デビュー講演会について（別紙タイムスケジュール・レイアウトあり）

- ・21 日（水）昼の時点で 18 名の申し込み。申込者は 60 代が中心。40 代、50 代も少しいる。
- ・地域とゆるくつながりたい、健康を保ちたいといった参加動機が目立つ。
- ・地域福祉コーディネーター 2 名参加。2 層 Co が急遽欠席せざるを得ない場合の各包括からの代理出席は不要。

3. 市報による（応援ブック掲載希望）新規団体募集について

問い合わせ件数多数の場合、対応が困難なため、今回の市報掲載による募集は見送る。

4. 活動報告から

- ・本日時間超過のため、来月の議題とする。

5. その他

- ・6 月 3 日（火）の 1 層協議体における、各包括からの活動報告について。昨年度の活動は 7 年 1 月の協議体でほぼ報告済みのため、今回は今年度の活動についてのみ取り上げる。3 分以内厳守。
- ・地域デビューガイドを近々市の HP に up する。当初 2,000 部単性予定だったが、4,000 部に変更。
- ・地域福祉課より民生委員の 70 歳 80 歳訪問の際に配ってもらうのはどうかとの提案あり。⇒このリーフレットの配布対象はプレシニアなので不適。町会回覧板のほうが適切か。⇒回覧板となると大量の部数が必要なため、市で検討。

次回開催予定

生活支援連絡会

2025 年 6 月 18 日（水）14 時～ 於:本町暫定第 1 会議室

開催日時 2025 年 6 月 18 日（水）14:00～16:00

開催場所 本町暫定第二会議室

参加者 小金井市介護福祉課：木津、菊地原 ※敬称略
にし包括：久野、みなみ包括：河合 きた包括：松村、ひがし包括：中島（記録）

議 事 内 容

1. 地域デビュー講演会について

34,5 名の参加。飛込 2 名、欠席 3 名。男女比は半々。

アンケートの回答は現時点で 11 名。おおむね満足の回答であったが、一部の方で「先生の自慢話と感じた」「小金井市の活動について知りたかった」「所詮お金と時間のある人の話」という不満の声もあり。

「地域活動にぜひ参加したい」と多くの方からの返答があるため、どのようにつなげていくのが課題。

○グループワークの様子等

- ・ 若い世代の方が多く、建設的な話がゆっくりとできた。参加者同士での会話の場面もあった。
- ・ 講演の感想よりも、普段やっていることや、やりたいこと、なぜ参加したのかの共有の場となった。
- ・ すでに地域活動へ参加している方も多かった。中には今後にやりたい事が定まっており、サロンの見学につながるケースや包括の仕事のボランティアにつながるケースもあった。
- ・ 配布した応援マップを見て後日問い合わせがあった。
- ・ 公民館の方がサークルを立ち上げるにあたっての躰きポイントについて等を話してくれた。ゲストの方が来てくれたことが良かった。
- ・ 何か参加できる活動を紹介してもらえんと思てきた方がいたので相談につなげる時間があると良かった。
- ・ 地域デビューガイドを見ながら話しができた。
- ・ S 氏の講演は自分事と捉えにくいようだったが、参考になったという話もあった。
- ・ 市報を見て公民館や宮地楽器ホールに行ってみたいと話している方がいた。
- ・ 年齢が若い今のうちから何とかしたいという思いを持っている方がいた。

○その他

- ・ 講師 S 氏の話だと、地域デビューでは「つかず離れずの人間関係」が秘訣として説明していたが、それだと地域のつながりがセーフティネットにはならない。
- ・ 公民館の方より、公民館で行われるイベントやサークルについての問い合わせは、公民館ではなく主催者へしてほしいと話があった。

2. お元気サミットについて

11/12（水）13:00～14:30 の枠。人数把握のため、定員 100 名の申し込み制（当日参加可）が妥当か。1 時間は S 氏の講演、残り 30 分は個別相談の時間とする。また、悠友クラブ・シルバー人材センター・ボランティアポイント担当・シニア S O H O 等の方にも参加を依頼し、コーディネーターが振り分けの対応等を行う。社協より、2 月の地域づくり講座の講師として S 氏を呼びたいため、お元気サミットとのコラボをしたいと希望があった。

参加者には包括 L I N E の登録をしてもらい、つながりを逃さないようにする。

パネル展示（マルチパーパス）については、地域デビューガイドの中面を拡大して貼りだす。他に提供したい情報はチラシで用意する。

3. 応援ブックについて

- ・ 費用の上限については定めずに、通いの場としての機能を有しているものを載せるようにする。
- ・ 市より修正済みの写真付きデータを各包括へ送付予定。編集後、提出は 10 月末をメ切とする。
- ・ すでに発行済みのブックの掲載内容の変更があった際には、連絡会にて共有し、ホームページ上の P D F を変更。次年度マップ作製時に修正内容を掲載する。

4. 活動報告から

- ・ 栄養講座は人気がある。薬局にいる管理栄養士や管理栄養士の資格を持つケアマネに依頼することがあり、ボランティアで対応してくれている。医療資源マップに管理栄養士がいるかどうかが載せられると良い。
- ・ メンバーが減っている活動とこれ以上新規を受けられない団体の二極化となっている。
メンバーが減っているグループは多世代の関りがない。年齢差 10 歳以上は必要ではないか。応援ブック以外の広報についての検討が必要。
これ以上受けられない（今のメンバーで固定したい）グループについては、2 部制とするなど分散できると良いが、担い手の不足や会場が取れない問題もある。今後の継続性を考えメンバーの入れ替えは必要となてくる。

5. 第2層協議体について

みなみ圏域にてサロン主催者で第2層協議体を開催。地域課題について、何もないところから自由に様々な発言あり。タクシーを割安にしてほしい、近所付き合いについて、町会がうまく回るには、孤独死について、個人情報の問題等。

要望とニーズの線引きが必要となってくる。新しいものをやっていく気持ちがある人と情報共有をしていく事で継続につながる協議体もある。協議体としての目的や意味をはっきりとさせていく。

地域の課題について協議する場合は、多世代の参加が必要。次回は、民生委員、町会・自治会のメンバー等にも声をかけていく予定。

今回の開催は9/3を予定。多圏域からの見学については、構成員への確認が必要。

6. その他

- ・ 「おしゃべりサロンふれ愛・縁がわ」が解散となったが、会場として使っていたクローバーホームは場所としての資源として残っている。
- ・ グランダ東小金井・グランダ武蔵小金井より、施設紹介をしたいという電話がボランティアセンター経由で市に入っている。

講座を市民向けに行う、認知症カフェのための場所として開いてもらう等、地域貢献をしてもらう形での紹介ができると良い。

次回開催予定

生活支援連絡会

2025年7月16日（水）14時～

於:西庁舎第5会議室

会 議 名		資料 2
令和 7 年度第 4 回 生活支援事業連絡会		
開催日時	2025 年 7 月 16 日（水）14:00～16：00	
開催場所	西庁舎第 5 会議室	
参加者	小金井市介護福祉課：木津、菊地原、（敬称略） きた包括：松村 みなみ包括：河合 ひがし包括：中島 にし包括：久野（記録）	
議 事 内 容		
1. 応援ブックについて ・ 今までは圏域別の掲載だったが、今回からはカテゴリー別にする予定。 ・ 別紙のように、市 HP 掲載することにより、団体の中でホームページを作成していれば、すぐに検索できる。 ・ ホームページ掲載に関しては、一定のルールを設ける。市で今までのデータは修正し包括に送るので、確認してほしい。 ・ 紙面の都合上、全記事は記載できない可能性あり。年会費の表記なども統一する。 ・ 参加費無料の団体は、基本的には表記しない。 ・ 代表者名は〇〇氏ではなく、〇〇さんと統一する。 ・ 応援ブックの表紙デザインをイラストにしては？という意見あり。きた包括圏域のエクセルアートの O 氏に 2 層 CO 松村氏より打診してみる。 ・ 圏域をまたがっている団体の掲載については、紙面に余裕があれば、それぞれの圏域に載せる。（いきがいさくら会、太極拳、囲碁、おしゃべりサロン等） ・ さくら体操、認知症カフェは応援ブックから削除予定。二次元コード掲載により HP で閲覧可能。 2. お元気サミットについて ・ 地域デビュー講演会第 2 弾を予定（別紙参照） ・ 申し込み制で定員 100 名とするが、当日飛び込み参加もありとする。 個別相談のところでは、ボランティアポイントの商工会は、マルチパーパスにて両日参加している。 ・ 個別相談会は小ホールのみでの実施が基本で、14:30 終了。 ・ ふらっと来た方も何か来てよかったと思えるよう、スマホ相談等の実施は良いのではないかと。スペースを確認する。 ・ お元気サミット周知については YouTube で配信。9/17(水)連絡会後に収録する。10/1 号市報にも掲載予定。 お元気サミットチラシとは別でチラシ作成する。 ・ 当日希望者が手に取れるよう 10～20 冊程度、応援マップを提供してほしい。 3. 活動報告から ・ 認知症夫婦が府中のセブンイレブンからカートを持ち帰ってしまうということで、110 番通報された案件(みなみ圏域)。店長は「どこに連絡していいのか、わからなかった」と。個別地域ケア会議を開催し、個人情報記載したヘルプカードを持たせることとなった。 コンビニ店長も包括の存在を知らないこともある。圏域内の高齢者のみが買い物に来るとも限らない。包括としての対応策としては、良かったと思われる。 包括支援センターの周知をする必要がある。 ・ 認知症の人の就労先も必要になってくる。今後、認知症推進員との協働も必要と思われる。包括内で共有し、推進員連絡会等で検討してもらいたい。 ・ 「料理クラブたちばな」が立ち上がった。社協の「いきいきサロンでは、飲食代が出ない」と言われたということで、主宰者としては「納得できない」とのこと。生活支援コーディネーターで解決できる問題でもなく、「直談判する」こととなった。助成金の出どころはどこなのか、助成金の仕組みについて申請する側にも理解することも必要なのではないかと。 4. お金の管理啓発について ・ 5 月に市が地域参加講座の中で実施。 ・ 7/17(木)いきがいさくら会に実施予定。 ・ 7/25(金)にし圏域で本町長生会に実施予定。 5. その他 ・ 10/3～12 週にわたり、サブスタッフ養成講座あり。11/19(水)の生活支援連絡会時に、受講者氏名、人数を伝		

えるので、講座受け入れ可能日の調整をしてほしい。

- ・ 生活支援コーディネーター初任者研修を終えて（ひがし包括）
事例とグループワーク、初任者同士の悩みを分かち合える場でもあった。住民にしかできないことや、専門職にしかできないことがあると感じた。「住民主体」の意味は、事例から学ぶことができた。自己紹介の仕方として「インパクトあるやり方で、ファンを作っておくと良い」と言われたのが印象的だった。
連絡会后、国分寺市との情報交換会を実施し、終了。

次回開催予定

生活支援連絡会 2025 年 9 月 17 日（水）14 時～ 於：本町暫定第 1 会議室にて

以上